



たらぎ 議会だより

だま



P2 議長新年挨拶

P4 事業所への補助金を受けやすく

P6 9議員が町政を問う

P12 さらなる議会改革に向けて



平成23年
12月定例議会

No.84

おめでとう全国大会出場!!
~心をひとつに~
(多中野球部)

熊本県多良木町議会発行

会を設置!!

提出（詳細はP12）

平成23年度第9回定例会は、12月13日から20日までの8日間開催され、承認1件、契約1件、条例等5件、補正予算5件、追加日程で議員発議3件が提案され慎重に審議した結果、原案どおり可決しました。また、一般質問には9名が登壇し、町長の考えを質しました。



開かれた議会をめざして

多良木町議会議長 鍋田 清高

新年あけましておめでとうございます。輝かしい新春を迎える、町民の皆様に議会を代表して、心よりお慶びを申し上げます。皆様方には、日頃より議会に対しましてあたたかいご支援、ご協力を賜っておりますことを心から感謝を申し上げます。

ところで、昨年は未曾有の被害をもたらした東日本大震災や台風12号による河川の氾濫や土砂災害、近くでは新燃岳の噴火など自然の脅威を思い知らされました。また、東京電力福島第1原発事故は安心・安全の原発神話を持壊させ、見えない放射能への不安をもたらし、除染問題、エネルギー政策の見直しをも迫っています。今年こそは、災害のない穏やかな一年であって欲しいと願っています。このような中、日本経済は激化するグローバル市場競争のなかで、デフレ不況を脱せず、世界での存在感を低下させ、国中に漠然とした不安や閉塞感が広がっているように思えます。また、世界に類例のない少子化と超高齢社会は、老後の安心を支える社会保障制度の維持が危機的状況になっています。

このような社会状況下で、多良木町は平成23年度を初年度とする「第五次総合開発計画」を作成し、10年後の「町のあるべき姿」を示しています。その中で「人口減少社会」、「高齢社会」「低成長時代」それぞれへの対応を課題とし、「地域力」、「産業力」、「定住力」の向上に取り組むとしています。議会としましても、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」について、執行部と充分討議し、より良い町づくりを目指したいと考えています。

昨年5月に議長に就任し、町民の皆様の負託に応えるために「開かれた議会」を目指すことを表明しました。そのためにも、昨年の12月定例議会で、議員発議により、「議会活性化特別委員会」を設置いたしました。目的は「町づくりへの係わり」や「議会活性化に資すること」等について検討し、地方分権への役割を果たしていくことにあります。

本年も内外の経済、社会情勢の厳しいなかですが、議会に与えられました町民の皆さんからの信託とご期待に添うべく、町、関係機関、諸団体の皆様と連携しながら、本町発展に向けて取り組んでまいりたいと思います。どうぞ町民の皆様方の変わらぬご支援とご協力を賜りますよう心よりお願いを申し上げます。

終わりになりましたが、この一年町民の皆様方のご多幸とご健勝を心よりご祈念申し上げまして、新年のご挨拶と致します。

全議員賛成のもと多良木町議会活性化特別委員会

地方自治法第112条及び多良木町議会会議規則第13条第2項の規定により

平成23年度
補正予算

一般会計補正予算は、
1億4,042万円を追加し
総額63億7,430万円とする

★ 国民健康保険特別会計繰出金 ----- 2,000万円
【保険税負担緩和繰出金】※ 医療費上昇のため税負担を調整



★ 県営経営体育施設整備事業
【多良木第1地区】----- 2,093万円
※ 久米工区用排水路改修整備

★ 多良木町緊急地域経済対策事業 ----- 400万円
【住宅リフォーム補助金】※ 前年度に続き事業利用者が多いため増額

★ 消防補償等組合負担金 ----- 1,094万円
【東日本大震災殉職消防団員】



★ 町道小田原庚申線改良舗装工事 ----- 1,650万円
※ 緊急時車両通行のため拡幅

★ 農林商工担い手対策補助金 ----- 150万円
【後継者対策として30万円を5人分】

特別会計追加補正

| | | | |
|--------------|-----------|---------------|---------|
| 国民健康保険 ----- | 673万円 | 介護保険 ----- | 465万円 |
| 下水道事業 ----- | △ 5,359万円 | 後期高齢者医療 ----- | △ 847万円 |

条例改正

12月定例議会では町から次のような条例新設・改正が提出されました。

1. 中小企業振興補助金条例が改正されました。

町に工場等を持っている企業、またはこれから町に工場等を設置する企業で、正規職員が5名以上の企業、かつ対象となる事業が300万円以上で町民税の特別徴収を行う企業（風俗営業以外）に町が対象事業の15%の補助金を交付することになりました。限度額は450万円ですが、正規雇用者が20名以上の企業の限度額は900万円となります。詳細は企画観光課にお尋ねください。

2. えびす温泉センター条例が改正されました。

主な内容は「多良木町えびす温泉センター」という呼び名が「多良木町ふれあい交流センターえびすの湯」に変ります。理由は温泉水の湯量が減少したためです。入館料は、これまで介護保険に入っている人は全員200円となっていましたが、これからは要介護認定を受けた方のみ200円になります。また、ブルートレインに泊まる時、入館券が付きますが「えびすの湯」が清掃や修理で使えない場合はブルートレインに泊まっても入館できないことになりました。（なお、ブルートレイン内にはシャワーを設置する予定です）

3. 暴力団排除のための条例が新設されました。

4. 職員の勤務時間と休暇に関する条例が改正されました。

これまで結核での長期休暇（1年以内）が認められていましたが、該当職員がいないことから条例から削除されました。

5. 久米財産区管理条例が改正されました。

これまで財産区管理委員の7名の方々は選挙で選ばれていましたが、これからは7つの地区で選任された方々を町長が財産区管理委員に委任することになりました。

これらの議案は全員賛成で可決し、24年1月1日から施行されています。

12月定例議会には、皆さんから陳情7件・要望1件が提出され2件が採択、1件が継続審査、5件が陳情要望書を議員に配布することになりました。

陳情・要望

| 区分 | 件名要旨 | 提出者 | 付託委員会 | 結果 意見書 |
|-----|--|-----------------------------------|-------|-----------|
| 陳情書 | 国民健康保険療養費国庫負担金の調整（減額）廃止を求める陳情書 | 新日本婦人の会熊本県本部 会長 畠田 ミツ子 | 厚生文教 | 採択 |
| 陳情書 | 国民健康保険財政への国庫負担割合を増やすことを求める意見書の提出に関する陳情 | 熊本県社会保障推進協議会 会長 鳥飼 香代子 | 厚生文教 | 採択 |
| 陳情書 | 道州制・地域主権改革問題についての陳情 | 地域主権改革反対キャラバン実行委員会 実行委員長 柴垣 雅英 | 総務常任 | 継続審査 |
| 陳情書 | 最低保障年金制度の創設を求める陳情 | 全日本年金者組合人吉球磨支部 支部長 美濃 寛治 | 厚生文教 | 議員配布 |
| 陳情書 | 障がい者の権利を保障する新たな総合福祉法の制定を求める意見書提出についての陳情書 | きょうされん熊本支部 支部長 上野 修一 | 厚生文教 | 議員配布 |
| 陳情書 | 大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める陳情書 | 熊本県医療労働組合連合会 執行委員長 田中 直光 | 厚生文教 | 議員配布 |
| 陳情書 | 改正介護保険制度の充実に関する求め意見書の提出に関する陳情 | 熊本県社会保障推進協議会 会長 鳥飼 香代子 | 厚生文教 | 議員配布 |
| 要望書 | 幼稚園就園奨励費補助の完全実施について | 社団法人熊本県私立幼稚園連合会 理事長 吉田 精華 | 厚生文教 | 議員配布 |

全員協議会 協議事項

10月20日(木)

1) 町立黒肥地小学校屋内運動場改築設計の内容について(報告)

- ・現在の1.7倍の面積になり、バレーコート2面、バドミントンは3面、ミニバスケットは2面取れる予定。H24年度末に完成予定。

2) 黒肥地小林第2団地用地取得について(経過報告)

- ・黒肥地小林(7区)の小堤町営住宅近くに子育て支援と若者定住を目的として建設予定。

10月28日(金)

1) TPP交渉参加反対に関する意見書提出を求める陳情書について

- ・「環太平洋パートナーシップ(TPP)協定交渉への参加に断固反対する意見書」として、議会議長名で衆・参議長・各大臣宛に提出することを決定。

11月28日(月)

1) 黒肥地茂原地区石倉の活用について

- ・多良木町文化財行政短期計画(案)の2.構成基幹事業(短期事業計画H23~27年度)の中で旧黒肥地農業共同組合倉庫改修事業…予算措置(国庫補助金50%)による、石倉の埋蔵文化財センター的施設への改修。

2) 多良木町議会活性化について

- ・①「まちづくりへの係わり」について。例えば、「総合開発計画への提言」など。
- ・②「議会の活性化に資すること」について。例えば「町民との情報の共有のあり方」など。そのために、仮称「多良木町議会活性化特別委員会」を設置する。12月定例議会に議員発議にて「特別委員会」の設置を提案する。

12月12日(月)

1) 光ブロードバンド事業について

- ・NTT提案、FTTH方式(Fiber To The Home)。H24.4月契約であれば、H25.8月光ネクスト提供開始予定。メリットとして、クラウドセンターに情報を確保(安全)、災害時のetcサービス(音信不通時等)

2) 公共施設の指定管理者制度について

- ・管理運営の方向性の違いがあるので4グループに分けて検討。募集要項配布はH24.1.4からH24.1.31まで申請書類の受付。候補者決定H24.2月上旬～3月上旬予定。

3) 行政改革推進委員会について

- ・委員会は、委員15名以内をもって組織する。町政について優れた識見を有する者のうちから町長が任命するとあるが、委員の中には公募者も必要と提案。地方自治法に基づく「多良木町まちづくり推進委員会」があるが、違いを明確にすること。

4) 多良木火葬場に係る斎場統合問題検討会議の結果について説明

- ・建設S52年度、平成元年6月20日、議会全員協議会にて一部事務組合の複合化について説明。平成元年9月、議会定例会、多良木町町営火葬場条例の廃止。
- ・施設利用実績から判断し、相互利用を前提に上球磨、下球磨各1ヶ所でよいとし、運営費100%多良木負担の施設である多良木火葬場を将来に向けた統廃合を視野に入れることとして、組合管理のもとで現在に至っている。
- ・免田火葬場改築事業について
将来の受入体制に門戸を開いておくため、1炉増設も可能な計画等の基本的な合意形成がなされている。

5) 平成24年度多良木町療育支援事業について

- ・事業内容 発達課題に対する集団療育支援及び児の特性に合わせた個別支援
①児童デイサービス ②放課後児童デイサービス

9人が町政を問う

～全ての質問事項～

1. 中村正徳 議員 (6ページ)

- ① 高齢化社会に対する本町での取り組みについて
- ② H24年度予算編成について
- ③ 納税状況について
- ④ 所得格差について

2. 高橋裕子 議員 (7ページ)

- ① 運営の方向について
- ② スポーツ振興について
- ③ 農業の振興について
- ④ 支援を必要とする児童、生徒について
- ⑤ 地元産業の活性化について

3. 吉瀬浩一郎 議員 (8ページ)

- ① 在町企業に対する配慮について
- ② 有価物回収事業について
- ③ 多良木火葬場について

4. 皆越秋廣 議員 (8ページ)

- ① 町長の政治姿勢について
- ② 農業の振興について
- ③ 多良木町の将来像について
- ④ 交通安全対策について

5. 村山昇 議員 (9ページ)

- ① まちづくりについての対策は

6. 福島典生 議員 (10ページ)

- ① 一般質問について
- ② 町づくりの政策について
- ③ 入札について

7. 坂口幸法 議員 (11ページ)

- ① 県立高校再編整備後期計画について
- ② 城南ブロック消防広域化協議会について
- ③ バイオマスタウン構想について
- ④ 夢のある町づくりについて

8. 久保田悦子 議員 (11ページ)

- ① 平成24年度の予算編成に向けて
- ② 中学3年生までの医療費無料化、水道事業の値下げ、福祉タクシー、学童保育所、国保税、火葬場について
- ③ 資料館建設について
- ④ 物品購入や小規模事業の請負について
- ⑤ 差し押さえについて
- ⑥ 川辺川土地改良事業について

9. 坂本一郎 議員 (12ページ)

- ① 多良木中学校野球部全国大会出場について



中村正徳議員

質問
高齢化社会に対する取り組みについて、独居老人世帯が平成23年4月1日現在613人お

前田健康保険課長

木警察署、上球磨消防
現在実施している事業は、多良木町見守りネットワーク事業というものである。各機関単独ではなく、民生児童委員、区長自治会、多良

質問
多良木町行政改革大綱答申書に、情報不足、知識不足による危機管理の欠如を改善するためには、改革しようとする意識が必要

であるとあり、その中に民間委託等の推進とともに町立保育園としての今後の方向、また町内学童保育施設についての方向をどう

西子ども対策課長
町の現状にふさわしい子育て支援環境の実現に向け、平成24年度に

お考えか。

A Q
関係機関と情報を共有し事業を強化していきます

A Q
運営の方向について

9人が町政を問う

～全ての質問事項～

1. 中村正徳 議員 (6ページ)

- ① 高齢化社会に対する本町での取り組みについて
- ② H24年度予算編成について
- ③ 納税状況について
- ④ 所得格差について

2. 高橋裕子 議員 (7ページ)

- ① 運営の方向について
- ② スポーツ振興について
- ③ 農業の振興について
- ④ 支援を必要とする児童、生徒について
- ⑤ 地元産業の活性化について

3. 吉瀬浩一郎 議員 (8ページ)

- ① 在町企業に対する配慮について
- ② 有価物回収事業について
- ③ 多良木火葬場について

4. 皆越秋廣 議員 (8ページ)

- ① 町長の政治姿勢について
- ② 農業の振興について
- ③ 多良木町の将来像について
- ④ 交通安全対策について

5. 村山昇 議員 (9ページ)

- ① まちづくりについての対策は

6. 福島典生 議員 (10ページ)

- ① 一般質問について
- ② 町づくりの政策について
- ③ 入札について

7. 坂口幸法 議員 (11ページ)

- ① 県立高校再編整備後期計画について
- ② 城南ブロック消防広域化協議会について
- ③ バイオマスタウン構想について
- ④ 夢のある町づくりについて

8. 久保田悦子 議員 (11ページ)

- ① 平成24年度の予算編成に向けて
- ② 中学3年生までの医療費無料化、水道事業の値下げ、福祉タクシー、学童保育所、国保税、火葬場について
- ③ 資料館建設について
- ④ 物品購入や小規模事業の請負について
- ⑤ 差し押さえについて
- ⑥ 川辺川土地改良事業について

9. 坂本一郎 議員 (12ページ)

- ① 多良木中学校野球部全国大会出場について

田中 総務課長 基本的

質問 平成24年度予算編成について、社会環境の変化や経済的価値観の違い、政策課題の変化また、「財政面」自主財源の安定的な確保も大変厳しい状況に在ると思うが、どのような点に留意され予算編成が成されるか伺いたい。

田中 総務課長 基本的

在宅老人緊急通報システム

には限られた人材と人員の中で職員一人一人がその能力を発揮し、福祉の向上のために最小の経費で最大の効果をあげることを目的として予算編成に臨んでいる。第5次基本構想、基本計画、実施計画といったものを作成しているので、24年度の予算編成に関しても、そ



高橋 裕子議員

施設、温泉センター、

を計画・管理運営としては公設民営を考えており、町立保育所2園の民営化を3年程度の期間で進めたい。町

の実施計画に上げているものについて予算の要求をするよう、各課に指示しているところである。また、一般財源が不足するなどの場合においては、議員が質問の中で基金及び臨時財政対策債に言及されたとおり、臨時財政対策債の活用、あるいは基金に頼らざるえない場合も出てくる可能性があるので、そういう部分も考慮に入れる必要があると考えている。

Q 24年度予算編成にあたっての基本的な考えは

A 実施計画に沿った予算編成となります

署、地域の消防団、地域包括センターなど関係機関と連携し、地域全体で見守り活動が充実できるよう努めているところである。その他、介護保険事業の中でもシルバー人材センターに委託し、日常生活の援助事業や安否確認などの事業、また

町長 25年度からブロードバンドの導入を予定している。議員が提案されたとおり、遠



在宅老人緊急通報システム

では、児童厚生施設等整備事業を利用し、平成24年度に久米学童クラブ、平成25年度に多良木学童クラブの新築

を計画・管理運営としては公設民営を考えており、町立保育所2園の民営化を3年程度の期間で進めたい。

町長 学童クラブをするにあたっては、現在の各校区一ヵ所ということと、学校の空き教室の利用も考えていきたい。



町内一学童クラブ

Q 地元産業の活性化について

A 町の企業を支援することは重要

質問 企業誘致をどう考えるが、地元事業所に対する支援による事業、雇用の拡大が必要かつ重要と思うがどうお考えか。また

観光産業の拠点となる食の場の提案について。
松本企画観光課長

企業の基盤強化のため、中小企業振興補助金の交付に関する条例の改正をした。産業振興基金の貸付金等も利用され、雇用の増加を図られることを期待する。また駅周辺、体育

宿泊施設、そして芝グランドゴルフ場も整備される中、食をテーマとした施設は魅力的である。町内飲食業、民間サイドに対しても支援

することは可能であり、町の活性化につながるものであれば積極的に協力できる。

Q 火葬場は必要。移転をやめ多良木町に残すべき

A 火葬場は中球磨に移転したい

吉瀬浩一郎議員



かかる」ということだが、これも違う。なぜならば12月1日現在、60歳以上の人口は約4,600人。この方が仮に90歳まで存命の場合、今後30年は火葬場が必要である。高齢化社会はこれからなのだ。第三に市町村長の申し合わせで将来の火葬場は人吉と免田を残す計画だが、これに強制力はない。残す決定を選択されながら、多良木に建設しても問題はない。

現に湯前、水上は今の火葬場を使うと決定している。町長は住民の気持ちをくみ取る力が落ちてこられたのではないか。

質問 火葬場移転の理由は、第一に「建設費が高い」という理由だが、それは違う。現在の見積りは一坪当りの建設費(機械と火葬炉を除く)が約132万円と大変高額である。類似葬祭場の場合、一坪当たり約64万円で、その差額が68万円ある。建物と機械設備を分離発注し地元業者に依頼すれば安くできるはずだ。第二の理由は「高齢化社会後の若い人に負担

町長 今まで多良木



残せないのか多良木火葬場

質問 町道仮屋原線と田原岡原線、園田熊野線の交差点で交通事故が多発している。田原岡原線と園田熊野線に「止まれ」の交通標示があるが、両側とも「止

振興していく作物は助成対象、作物面積や栽培技術等が普及定着している作物は、助成対象外、質問の作物については、現在普及定着しては、非常に厳しいと考える。なお、町では融資

質問 葉たばこ生産農家の減少により、基幹作物のメロン・イチゴ・キュウリ・トマト等の生産農家に種子の助成はできないか。

松崎農林課長 種子助成の基本的な考え方は、町が今後面積拡大し、作物なので、種子助成は非常に厳しいと考える。なお、町では融資

質問 葉たばこ生産農家の減少により、基幹作物のメロン・イチゴ・キュウリ・トマト等の生産農家に種子の助成はできないか。

振興していく作物は助成対象、作物面積や栽培技術等が普及定着している作物は、助成対象外、質問の作物については、現在普及定着しては、非常に厳しいと考える。なお、町では融資

質問 町道仮屋原線と田原岡原線、園田熊野線の交差点で交通事故が多発している。田原岡原線と園田熊野線に「止まれ」の表示か、交差点の中心に赤色点滅の埋め込み等を考え、交通事故防止の対策が考えられないか。

ま再び表示される。交差点の中心に赤色点滅の埋め込み等を考え、交通事故防止の対策が考えられないか。

田中総務課長 交通安全部について、現在地元の区長要望で実施している。なお、交通安全の協議の上、施設整備を実施している。質

A 早急に対策をする

Q 交通事故防止の対策は

事業産業振興基金(無利子貸付)で、園芸花き振興資金と農業振興活性化支援資金を準備している。また菜種、唐辛子の種子については助成するようにしている。

村山
昇議員



Q 限界集落への対策は

A スピードを上げて対策をやる

各自の生活が困難な状態になるのではないかと思うが、その対策についての町長の考えは。

町長 今、県の事業で、高齢化が高いといふことで概木地区の集落点検等をモデル地区として調査分析を実施している。その中で、今後

見直しが出てきている。
ように私は感じている。
それをスピードを上げ
てやることを今回の事
業の中で見つけていき
たい。

の施策として六次産業には補助金の後押しが

いまや多くの人々の共通認識となつてゐると思ふが、町長の考えは。

A large black Kumamon mascot stands in front of a booth at a convention. The booth has a sign that reads "多技能" (Many Skills) and features a display board with various images.

町イチ／村イチ／イベントに出展

町長 今回取り引きをいたしている京王デパートでは、米だけではなく、米と加工品のセットで出来ないかといわれたので、加工施設等を利用すると六次産業も広がるという手応えを感じた。

町の農業女性の会でも取り組みがなされてい
るし、町の農産物を利
用した六次産業化に
徐々に取り組み、将来
的には加工施設の計画
をしていきたい。

う考えがいいんじやないかというふうに思つてゐる。機械設備と建物の分離発注については、建物と炉というのがあるので分離発注は難しいと思う。負担金、維持費、広域行政組合

の答申の三つを考えた時に、私は中球磨の方に入らせて頂いた方がいいんじゃないかとう判断をしてる。アンケートについては当然火葬場を残してほしいという意見があると思

う。ただ、アンケートの中でも金額がいくらか、あるいは総合的な判断などをアンケートの中で網羅していくのは厳しいのではないかと考えてるので、今のところ取るつもりはない。

皆越秋廣議員



第六次産業型経済の構築け

質問 農山村地域では、所得水準の急落が進む中、公共事業に依存しない産業の育成が喫緊の課題となっている。強くなっている。町においても、集落営農組合から法人化した、「多良木のびる」が六次産業化を目指して今現在

強くなっている。町においても、集落営農組合から法人化した、「多良木のびる」が六次産業化を目指して今現在

A black and white portrait of a middle-aged man with glasses, wearing a suit and tie. He is looking slightly to his right. The background is blurred, showing what appears to be an office or a formal setting.



奥野地区の交差点

質問 県教育委員会は 県立高校再編整備後期 計画について、委員か ら「統廃合については

地元の賛同は不可欠」などの指摘が出たのに
対し、県教委側は対象地域への情報提供に努

める考え方を示しただけの新聞報道を受けての、町の考え方や取り組みは。

質問 政府は、TPP・ 消費税増税・福祉の負

担増を打ちだしており、
国民は暮らしに大きな
不安を抱えている。こ
うした中で暮らしを応

援する政策が求められている。国民健康保険税については、所得に占める保険料が1984年に

A 多良木高校存続に向けて最善の最大の努力で **Q** 県立高校再編整備後期計画の状況と取り組みは

福島典生議員



Q 情報公開について

A 可能な限り情報の公開はします

町長 情報公開はできるだけしている。オンブズマンの評価がこの通りだったから、結果は認める。

ゲの結果で、県が満点の70点だった中、町は45点で15位だった。「ガラス張りの町政」を目指されている町長だから、情報公開の現状とこの結果についてどう思われるか。

表をしているかしていいかで、本町に於いては議会だよりを発行しているので、評価はインターネットで公開が出来てゐるかどうかが点数が低くなつた原因と思われる。

質問 工事の受注、物品の納入にしても、競争入札ということであれば、他町村では不正入札の情報で入札の延期などで対応に追われている状況を見るまでもなく、そこに問題も発生することもあるかと思う。入札の現状と、町長が当初取り組まれていた予定価格の公表

町長 予定価格の公表は就任一期目は予定価格の事前公表を一年ほど実施していた。しかし、こちらは期待するほどの競争価格が出ず、事前公表に対するデメリットもあり、それ以後は事後公表の指名競



入札書

田中総務課長 本町が
15位だった理由 先方の設問の取り方で、理由は議会の議事録の公由

Q 入札について

については、現在どのように認識されているか。

争入札の形になつた。今後も状況が変わらなければ、今まで通りの入札で行う。

宮本教育振興課長

1月中に開催されるであろう県教委の説明会に向けて、専門委員会を中心に協議をしながら

ら進めており、慌てず、
慎重な形を取りながら
も対応をしている現状
である。

溝口教育長 一生懸命 活動して いる多良木高

町長 多良木高校存続を積極的に訴えていくことを本町だけでなく、上球磨、できればあさぎり、錦も含めて連携を図りながら、最善の

校の生徒や先生、また高校の施設設備を知つ

たい。
最大の努力をしていき



頑張れ!! 多良木高校

Q 「多良木町宇宙夢基金」の創設を

A 今後検討していくたい

JAXAの協力のもと
中学生による、宇宙科
学教室（コスミックカ
レッジ）は大好評だつ
た。そこで、子ども達
に宇宙科学分野に夢を
持たせるという意味で
も、宇宙飛行士とかJ
AXAの職員になれる
ような目的を持つ

質問 「サイテク祭2011」には700名を超える来場者があり大盛況のもと終了した。その中でも

た。そこで、子ども達に宇宙科学分野に夢を持たせるという意味でも、宇宙飛行士とかAXAの職員になれるような目的を持つ

た、仮称「多良木町宇宙夢基金」の創設について。

た、仮称「多良木町宇宙夢基金」の創設について。

A 最低価格を下回らないように企業努力を **Q** 予定価格の適正化・公表を

9 % だったのが、現在
19.3 % と倍以上になつて
いる。一般財源を投入
しても値下げすべき
だと思うがどうか。

24年度以降のシミュレーションによると24年度が2,465万円、25年度が1,785万円の単年度赤字が予想され、税収が伸びなかつた場合は、これよりも単年度赤字が膨らむものと考えているので、厳しい状況と認識している。

下では一般財源からの繰り入れを行い、値上げは今のところ考えていないうが、近い将来、値上げも検討しなければならないと思つてゐる。極力そうならないよう、最善の努力をしていく。

町長 以前は予定価格の公表を行つていたが、私としては最低価格と いうのは品質を保障するような価格であり、最低価格を下回らないよう に企業努力をしていただきたい。

平成 23 年度入札工事発注一覧表

さらなる議会の改革に向けて

多良木町議会活性化特別委員会が議員発議にて設置されました

町民の皆様に信頼と期待に添う、より進んだ議会にするために12月の定例議会で議員自ら上程し、全会一致で決議されました。

目的は地方分権の進展により、議会に求められる役割や責任の重さが一層増すことにより、新たな視点で様々な課題等について調査、研究を行い、議会を活性化させることを目的としています。

今まで、議員の仕事ぶりが見えない、提出議案が少ない、執行部提出議案をほとんど原案可決しているのではとの声も届いていました。これからは議員の活動をもっと町民の皆様に理解して頂き、「町づくりへの関わり」や「議会の活性化に資すること等」を明確にし、充分論議して、さらなる町発展に努力していきます。

多良木町議会活性化特別委員会委員長
瀬崎 哲弘

多良木町議会活性化特別委員会副委員長
坂口 幸法

Q 多良木中野球部全国大会出場における支援について

A 助成には制限があるが、町民みんなで応援していきたい

坂本一郎議員



質問 町長として、また教育長として、今回多良木中学校野球部が達成した全国大会出場という偉業に対しても、どのような感想をお持ちか伺いたい。

多良木中学校野球部は、多良木町を全国にアピールする絶好のチャンスだと思う。それにより多良木町に大きな経済効果があるのではと思う。そのようなことに関しても部員関係者、保護者の出場経費負担が少なくて済

むような助成をしてやるべきと思うが、どのように考えられるか伺いたい。

町長 過去の出場例があり、その時の条例や要綱にのつとり定額の助成しか出来ないが、一般の方々の寄付活動によりPTA等で頑張っていただき、みんなで応援していきたいと思う。

宮本教育振興課長 ここまでたび重なる試合出場で、保護者の出費も重なっていると思う。できるだけ負担のかからない、協力の道を考えて、また民間での応援ツアーや等も考えて応援ツアーや等も..



子ども達の練習風景

〈政務調査報告〉

姉妹町南幌町の取り組み

南幌町は人口8,713名、世帯数3,384戸(H23.4.1現在)と、ほぼ本町と同じであり、基幹産業も農業で、農家戸数は204戸であるが、一戸当たり耕地面積は20ヘクタールを超える。主要作物は水稻で転作制度に伴い畠作物ではキャベツの産地となっている。名物海鮮入り「キャベツ天丼」がある。

姉妹町として小学生による交流が先の国体野球チームと黒肥地1区のつながりから始まり、議会の交流も何度かあり、とても親しい町である。その町で4年間80回の会議をし、取り組まれた南幌町活性化特別委員会について意見交換をした。課題は北も南も共通する所が多く、日本の農業の課題にも通じるのではないかということ、その中にあっても南幌町では大量の稻藁(イナワラ)と糀殻(モミガラ)を利用したバイオマス事業で順調な運営が成されている。稻藁ペレットと教材工業の廃材ペレット利用によるボイラで、温泉センターの暖房と給湯。燃焼した灰は溶雪用に田畠に撒かれ、糀殻は分別収集した生ゴミと搅拌して堆肥化し、これもまた田畠に利用され循環型農業に成功されている。生ゴミの分別と堆肥化は本町としてもぜひ取り組むべき事業であると考える。

また隣の長沼町ではグリーンツーリズムの取り組みについて意見の交換をした。町内120件の農家で修学旅行受け入れを中心とした経営であるが、1件には2~3名と家族としての体験宿泊であり、とても人気のある町である。モデルは大分県安心院の取り組みということであった。議会に於いては、予算決算審査の特別委員会の設置等々があり、勉強するべき点が見えてきた。

北と南の町との交流により、これからもっと積極的に人の交流・物資の交流を行い、お互いに発展していきたいと願うと共に、議会としての役目について考え、町の活性化へと繋げていけなければならない。

総務常任委員会(高橋)



ペレットボイラーの視察

〈政務調査報告〉

河川敷の整備事業を視察 —釧路市—

平成23年10月26日午後、釧路市において河川敷の整備事業について研修視察を行いました。

北海道は日が暮れるのが早いということで、まずは現地視察から実施することにしました。実際、北海道の日没は多良木町より1時間は早く、4時を過ぎると暗くなり始め、5時では真っ暗になってしまふ状況でした。

なぜ今回の視察研修に釧路市を選んだかといえば、釧路市の中心地を流れているのが釧路川であり、その整備事業に300億円強の予算のもと整備事業に取り組んでいるという情報を得たからです。

多良木町でも今年度は球磨川の河川敷での事業に取り組んでいますが、予算の規模は違うというもの河川敷を利用した計画という取り組みの中でなにか研修できればと思ったからです。実際、釧路市では釧路川の河川敷に3つのグランドゴルフ場を持っており、新しい建設計画もあるということです。

釧路市の中心を流れる釧路川というのは、流域面積166.9km²、流路延長16km、標高差2.8mの一級河川です。釧路をイメージさせる霧や夕日など四季折々の川の表情を楽しめ、そしてまた「ふるさとの川」として地域と強く結びついているということです。そういう市民に親しまれ、暮らしがはぐくまれている市民の川である釧路川の整備事業、水辺づくりに取り組まれている現地を視察できたのは大変意義があったと思います。



釧路市との意見交換

現地視察の後、市役所内において現地の視察に同行をしてもらった都市整備部の職員による「ふるさとの川整備事業～河川改修と一体となった川づくり～」について、現地視察を踏まえて説明・勉強会が開かれました。

予算規模の大小にかかわらず、地域住民の心をひとつにして「人が集い、楽しむ。釧路川とのふれあい」をキャッチフレーズに取り組まれている釧路市の人たちの働きを今後の参考として活動していきたいと思います。

経済建設常任委員会(福島)

《政務調査報告》

健康・長寿・子宝の島（伊仙町）

平成23年10月24日(月)～10月26日(水)まで、鹿児島県大島郡瀬戸内町・伊仙町・徳之島町に於いて調査研修視察を行った。

瀬戸内町では、加計呂麻島ハーフマラソン等スポーツイベントによる町おこしについて。海・山・空・雲・人情、そして「にほんの里100選加計呂麻島」に選定された自然・文化が魅力。人口約1,500人、面積は約77.4平方キロメートル。複雑なアリス式の入り江に縁取られ、豊かな緑と美しい海の風光明媚な島である。この加計呂麻島ハーフマラソンにはハーフ、10km・5km・3km、駅伝(10kmを4人1組)があり幅広い世代、ベテランランナーから風景を楽しむ家族連れまで愛されているのが特徴だ。

次に完全養殖クロマグロについて現地視察。2002年に近畿大学水産研究所が30年余かけて、商業化に向けて研究を続け、世界で初めてクロマグロの完全養殖に成功、2004年には市場へと出荷が開始された(近大マグロ)。

伊仙町では「健康・長寿と子宝の島」に係る福祉事業全般について。徳之島の南西部に位置し、面積62.7平方キロメートル・人口7,230人(男:3,610／女:3,620)、世帯数3,606戸、町の北部にある標高417メートルの犬田布岳から、南の海岸線に向かってゆるやかに傾斜しています。伊仙町は、長寿世界一としてギネスブックに認定された、泉重千代さん(120歳237日)や本郷かまとさん(116歳)が生まれ育った町である。また昨年1月の発表で合計特殊出生率(2.42人)が全国一位、あわせて天城町2位、徳之島町3位と全国のトップ3を徳之島3町が占めた。地域全体で子育てを支えるという習慣が今なお脈々と受け継がれており、福祉事業が充実している。また平成24年には町政施行50周年を迎える、「健康・長寿と子宝の町」「人情豊かなおもてなしの町」として、誰もが行ってみたい町、住みたい町を目指している。

徳之島町では生涯学習センターを視察研修。教育委員会関係の学校教育課・社会教育課・図書館・郷土館・生涯学習各教室等の充実した施設を研修した。

厚生文教常任委員会(村 山)



研修風景 伊仙町

◇◇ 平成23年度 町村議会広報研修会 ◇◇ 「誰のための議会広報か!!」

去年、11月9日午後1時より県市町村自治会館において、平成23年度町村議会広報研修会が、県町村議会議長会の主催のもと開催されました。

今回の研修内容は、熊本日日新聞社NIE専門委員・熊本大学客員教授、越地真一郎氏を講師に招いて、「議会広報徹底クリニック」と題し13町村もの議会広報誌が、クリニック(診断)を受講しました。もちろん本町の議会よりもクリニックを受けた訳ですが、先生からの厳しい指摘、わかり易い



説明を聞くとともに、「誰のための議会広報か」という広報の基本・重要性を改めて全議員が実感した次第です。

これからは、難しいことは分かりやすく、硬いことは柔らかく、自己満足より読者(住民)の満足度優先、何事にも問題意識を持ちながら住民目線に立った議会広報誌を創ることに心がけ、我々の熱い思いと、それを伝える表現力を養っていくたいものです。

(坂 口)

議会傍聴しませんか！

議会の傍聴はどなたでもできます。日程などの詳細については、議会事務局にお気軽に問い合わせください。☎ 42-1265(直通)

高級食材「コゴミ」を行政視察研修

平成 23 年 11 月 1 日に玉名郡和水町の竹下園芸食品を訪問し、料亭等に高値で取引されている山菜のコゴミ（和名：クサソテツ）栽培の実情を視察研修しました。

コゴミは、春期に若芽を摘み取って食用にできるシダ類の山菜です。アクがないため野菜と同じようにそのまま和え物やサラダなど和食、洋食など様々な料理に使うことができ、世代を問わず人気の高まっている有望な山菜です。高値取引にはハウス栽培が必要ですが、特段暖房器具は使わず 2 月上旬から出荷ができます。多良木町でも振興作物の一つとしてコゴミ栽培を推進していくよう計画されています。（村山）



熊本県町村議会議員研修会

平成 23 年 11 月 2 日(水)午後 1 時 30 分、熊本県立劇場演劇ホールに於いて熊本県町村議会議長会主催による研修会に議員 12 名が参加する。

開会、挨拶の後、外交ジャーナリスト・作家慶應義塾大学教授・手嶋龍一氏より「世界の中の日本・アジアの中の日本」～日本の外交戦略を探るへの演題で、財政赤字は日本が深刻、通貨安競争に劣後するニッポン、北方領土交渉見通し立たず、劣化する日本外交、普天間基地の移設問題、35 分間の日米首脳会談、官邸・保安院・東電「想定を超える災害」、「想像すらできない事態を想定し備えておけ」、「日本を救うことは国際社会の大義」、福島第一原発のクライシス・オペレーション、ポスト 3.11 日本の新たな課題、TPP：環太平洋パートナーシップ協定、戦略上の観点から見た TPP、各国の名目 GDP、TPP を推進するオバマ政権、21 世紀産業国家ニッポンの針路等についての講演がありました。（村山）



※ TPP：環太平洋パートナーシップ協定＝シンガポール、チリ、マレーシア、ブルネイの 4 カ国が 2006 年に結んだ経済連携協定。アメリカ、オーストラリアなどが参加を表明して交渉中。10 年以内に、関税を撤廃した自由貿易圏づくりをめざす。

上球磨町村議会議員研修会が実施されました

平成 23 年 11 月 24 日 (木)

研修会場：あさぎり町せきれい館

議員活動の情報と地域の議員交流を目的として、4ヶ町村のあさぎり、水上、湯前、多良木の議員の合同研修会が開催されました。

今回は「がんばれ日本」～夢を実現させようとする熱き思いが地域を活性化させる～を演題に、東大阪市在住の（株）アオキの社長で、東大阪市モノづくり親善大使青木豊彦氏を迎えての講演でした。

中小企業が集まる東大阪市は、ハブラシ製造から人工衛星迄がこの町のキャッチフレーズにし、ようやく 2009 年 1 月に人工衛星「まいど 1 号」が打ち上げに成功し、東大阪市の町工場を全国的に有名にし、青木氏は「メイドイン東大阪」の人工衛星を打ち上げようと計画実現へと導いた中心人物で、何事も努力すればその先に必ず成功の道はあると言い切る人、何かと地方でも経済の疲弊を感じている昨今だが、氏は地方だからチャンスも充分あると熱く語られ、私達議員も元気の源を貰ったようで、今後の頑張りに勇気が湧きました。（瀬崎）

第 13 回『多良木えびす会』開催

平成 23 年 11 月 1 日(火)午後 6 時 30 分から熊本市に於いて、多良木町出身の熊本県職員、多良木町議会議員、町執行部との情報交換と親睦を兼ねて、毎年開催している会です。参加された県職員の自己紹介の後、情報交換を行い、町が現在取り組んでいる状況等が話題になり、大盛り上がった会となりました。（村山）



2012年の初日の出



上球磨消防組合（一部事務組合シリーズ②）

地域の消防力を強化するため 消防の広域化を協議しています

県下各地域の消防本部は、火災や災害から、住民の生命、身体及び財産を守る重要な機関です。

皆様のお住まいを管轄する4つの消防本部（4消防本部の構成市町村は下図のとおり）では、消防本部を取り巻く環境変化に対応し、消防力の一層の充実強化を図るため、「熊本県消防広域化推進計画」に基づいて、平成21年5月に「城南ブロック消防広域化協議会」を設立し、平成25年3月末を目途に消防の広域化について協議を行っています。

協議会では、今後も協議会の進捗状況や広域化に関する情報を継続してお知らせして参ります。

(管轄人口は、H22国調速報値)

★ 消防本部 ● 署、分署



| 現在の規模 | 職員数 (人) | 構成 市町村数 | 管轄人口 (人) | 管轄面積 (km ²) |
|------------|------------|------------|-------------|----------------------------|
| 八代広域消防本部 | 208 | 2 | 145,036 | 713 |
| 水俣芦北広域消防本部 | 70 | 3 | 51,368 | 430 |
| 人吉下球磨消防本部 | 105 | 6 | 60,751 | 971 |
| 上球磨消防本部 | 62 | 4 | 33,985 | 564 |

現行の4消防本部（★）を1消防本部に再編すると

現行の半消防本部（★）を「消防本部に再編する」と

樓　　成　管轄人口　管轄面積

※1「職員数」は現在の職員数の合計

※「職員数」は現在の職員数の合計
※2「箇轄面積」は、小数点以下を省略しているため、合計に差が生じる

(市立ゴミ・危険物処理化協議会が上り(第1回)上り一部改訂)

【上球磨消防組合議会議員：坂木一郎 村山昇】

広報特別委員会構成

新しい年が明けました。司馬遼太郎さん原作のTVドラマ「坂の上の雲」が完結しました。主人公の一人、秋山真之は松山市の出身で俳人正岡子規と親交があり文人となることを志しましたが訳あって大学予備門を中退。軍人となつた人々です。日本海海戦時の伝令は、戦史に残る名文として語り継がれています。「敵艦見ゆとの警報に連合艦隊は直ちに出動。之を撃滅せん」と本日天気晴朗なれども高風高くあふれる緊張感と文学的素養が伺える名文です。彼は、合衆国と欧州に戦略研究のため3年間滞在し1898年に合衆国とスペインの戦争の観戦武官として米国の軍艦に乗船し戦いを観戦していくます。この間、勝因敗因分析のため、捕虜のスペイン軍将校から戦場の状況、軍艦の配置などを聞き取り、膨大な量の報告書(極秘諜報118号)を本国に送っています。彼は駐在武官当時可能な限りの軍略に関する書籍を読破したようです。一人の人間の凝縮した体験が数年後のバルチック艦隊との海戦における圧倒的勝利の遠因となつたといわれています。彼は書き残しています。「吾人生の安きを偷めば、帝国の一生危うし」すなはち、自分が無作為に日本国をやり過ごしていれば、日本国を危うくすることになる。といふことであります。この時秋山30歳。凄まじいまでの集中力。彼の生きていた時代と今は人も社会も質的に異なるとはいえ、明治人の國家を俯瞰する意志の力には学ぶべきものが多いことでしょう。

新春に臨み、彼の時代に思いを馳せました。私達も何をなすべきかを真剣に考えなければなりません。

編集後記